

13pt/36pt

六、帰還……………154

五、憂愁の時……………130

四、古都は薫る……………116

三、東、そして西へ……………72

二、踏み止まらない想い……………40

一、秋の装いとともに……………8

目次

14pt + 20pt

紀行小説・古都は薫る

30pt + 18pt 字間ツメ

四季の自然とパノラマ写真で綴る
南アルプスの丘陵地帯を行く

36pt + 22pt 字間ツメ

伝統の技と精神性が息づく
鎌倉彫りの様式美に学ぶ

22pt 字間ツメ

朴訥を絵に描いたような男

32pt + 16pt 字間ツメ

再びPKOを考える

長期的見通しと運用のメリットとは

13pt + 26pt 字間ツメ

物と環境と心の歪みを抱えたままの日本

高度経済成長とは何だったのか

17pt + 34pt

今に語り継がれる
民話伝承

12pt/20pt + 16pt + 14pt

誘はれるでもなく
覚めるでもなく、
私の心が燻る……

此処では薪が燻つてゐる、
その煙は、自分自らを
知つてでもゐるやうにのぼる。

丘の上では
棉の実が罅裂ける。
丈夫な扉の向ふに、
古い日は放心してゐる。

冬の夜に
私の心が悲しんでゐる
悲しんでゐる、わけもなく……
心は錆びて、紫色をしてゐる。

冷たい夜 中原中也

16pt + 28pt 字間ツメ

武道としての柔術 その歴史発展と流派